

# 「温室効果ガス排出抑制計画制度」に基づく 令和4年度実施状況の公表

## 【特定事業者】135事業者（事業者単位：合計の原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上）

- ・ 基準年度に対する総排出量は、一部増加している企業が見られるものの、減少している企業も多く、全事業者の総排出量の合計値については減少した。
- ・ 排出量が減少した主な理由としては、省エネ性能の高い設備の導入や運用改善等を積極的に進めている事業者による排出量が削減されたことに加えて、新型コロナウイルスの感染拡大による生産調整や営業縮小等による影響を受けた事業者による排出量が削減されたこと等が挙げられる。
- ・ 原単位排出量は、積極的な設備投資等を通じた排出抑制対策の推進により減少している事業者が見られる一方、新型コロナウイルス感染拡大による生産調整や感染症対策のための換気等の影響によって増加した事業者も一部見られた。

排出量の単位：t-CO<sub>2</sub>

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	2022年度 (R4年度) 総排出量	対基準年度 総排出量 増減率	対基準年度 原単位排出量 増減率
2020～2022 (R2～R4)	2019 (R1)	2022 (R4)	118社	1,157,257	1,132,738	△2.1%	+7.1% (+1.2%※※)
2021～2023 (R3～R5)	2020 (R2)	2023 (R5)	7社	61,273	62,612	+2.2%	△17.0%
2022～2024 (R4～R6)	2021 (R3)	2024 (R6)	10社	48,079	46,909	△2.4%	+9.6 (△11.3%※※)
合計			135社	1,267,580	1,242,259	△2.0%	

※原単位排出量：各事業者の温室効果ガス総排出量を、生産数量や延床面積等のエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した値（例：製品1個単位や面積1m<sup>2</sup>単位の温室効果ガス排出量）

※※カッコ内は当該年度の原単位排出量が特異値となった事業者を除いた数値。

## 【トライアル事業者】37事業者（特定事業者以外で本制度に取り組む事業者）

- ・ 基準年度に対する総排出量は、一部で減少している企業も見られるものの、増加している企業の割合が多く、全体としては微増となった。
- ・ 主な理由として、工事等の受注増加等により、トライアル事業者の中で多くの割合を占める建設工事関連事業者からの排出量の増加したことが挙げられる。

排出量の単位：t-CO<sub>2</sub>

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	R3年度 総排出量	対基準年度総 排出量増減率
2020～2022 (R2～R4)	2019 (R1)	2022 (R4)	15社	8,096	8,213	+1.4%
2021～2023 (R3～R5)	2020 (R2)	2023 (R5)	18社	3,716	3,766	+1.3%
2022～2024 (R4～R6)	2021 (R3)	2024 (R6)	4社	175	158	+1.9%
合計			37社	11,967	12,137	+1.4%

※トライアル事業者には原単位排出量の報告を求めているため非公表。